

3月新着図書

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。



野庭すずかけコミュニティハウス

インタビューズ

著者名：堂場瞬一

一気に読みできて、何処からでも読める！？文学の新たな手法に挑む問題作！この本は、100人の物語（インタビュー）で繋がる。

背高泡立草

著者名：古川 真人

芥川賞受賞

【第162回 芥川賞受賞作】草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。記憶と歴史が結びついた、著者新境地。大村奈美は、母の実家・吉川家の納屋の草刈りをするために、母、伯母、従姉妹とともに福岡から長崎の島に向かう。吉川家にはく古か家>とく新しい方の家>があるが、祖母が亡くなり、いずれも空き家になっていた。奈美は二つの家に関して、伯父や祖母の姉に話を聞く。吉川家はく新しい方の家>が建っている場所で戦前は酒屋をしていたが、戦中に統制が厳しくなって廃業し、満州に行く同じ集落の者から家を買って移り住んだという。それがく古か家>だった。島にはいつの時代も、海の向こうに出ていく者や、海からやってくる者があつた。江戸時代には捕鯨が盛んで蝦夷でも漁をした者がおり、戦後には故郷の朝鮮に帰ろうとして船が難破し島の漁師に救助された人々がいた。時代が下って、カヌーに乗って鹿児島からやってきたという少年が現れたこともあつた。草に埋もれた納屋を見ながら奈美は、吉川の者たちと二つの家に流れた時間、これから流れるだろう時間を思うのだった。

線は、僕を描く

本屋大賞
ノミネート

著者名：砥上裕將

水墨画という「線」の芸術が、深い悲しみの中に生きる「僕」を救う。やさしく温かく美しい物語。

夏物語

本屋大賞
ノミネート

著者名：川上未映子

大阪の下町に生まれ育ち、東京で小説家として生きる38歳の夏子には「自分の子どもに会いたい」という願いが芽生えつつあつた。パートナーなしの出産の方法を探るうち、精子提供で生まれ、本当の父を捜す逢沢潤と出会い、心を寄せていく。いっぽう彼の恋人である善百合子は、出産は親たちの「身勝手な賭け」だと言い、子どもを願うことの残酷さを夏子に対して問いかける。この世界は、生まれてくるのに値するのだろうか。

medium 霊媒探偵城塚翡翠

本屋大賞
ノミネート

著者名：相沢沙呼

推理作家として難事件を解決してきた香月史郎は、心に傷を負った女性、城塚翡翠と出逢う。彼女は霊媒であり、死者の言葉を伝えることができる。しかし、そこに証拠能力はなく、香月は霊視と論理の力を組み合わせながら、事件に立ち向かわなくてはならない。一方、巷では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かしていた。一切の証拠を残さない殺人鬼を追い詰めることができるとすれば、それは翡翠の力のみ。だが、殺人鬼の魔手は密かに彼女へと迫っていた。

ムゲンのi 上

本屋大賞
ノミネート

著者名：知念実希人

若き女医は不思議な出会いに導かれ、人智を超える奇病と事件に挑む。夢幻の世界とそこに秘められた謎とは！？予測不可能な超大作ミステリー。



稚児桜 能楽ものがたり

著者名：澤田瞳子

破戒、復讐、嫉妬、欺瞞、贖罪。情念の炎に、心の凝りが燃えさかる。能の名曲からインスパイアされた8編のものがたり。

猫君

著者名：畠中恵

茶虎で金目銀目の猫、みかんは江戸・吉原で髪結いをするお香のもとで可愛がられて育ち、まもなく二十年が経とうとしていた。病の床についたお香は、尻尾が二叉に分かれ、言葉を操り始めたみかんが、やがて人に化ける猫の妖怪「猫又」になる特別な存在だと告げて、この世を去る。飼い主を取り殺したと疑われ、追われるみかんを助けたのは、先輩猫又の加久楽（かぐら）だった。妓楼の一室に匿われたみかんは、同じ新米猫又の白花（しろか）らと出会い、猫又のあれこれを教えられる。花のお江戸に隠された六つの陣地に分かれて、陣取り合戦を繰り広げていること。代々の徳川将軍のはからいで、江戸城の中には新米たちが修業する学び舎「猫宿」があること。猫又史にその名を刻む英雄「猫君」の再来が噂されていること……。加久楽に連れられ猫宿へやってきたみかんは、「猫宿の長」と呼ばれる謎の人物をはじめ、様々な師匠のもと、仲間とともに数々の試練に挑んでいく——『しゃばけ』の著者が贈る、お江戸ファンタジー開幕！



店長がバカすぎて

本屋大賞
ノミネート

著者名：早見和真

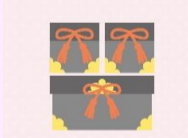
谷原京子（契約社員、時給998円）「マジ、辞めてやる！」でも、でも…本を愛する私たちの物語。

むかしむかしあるところに、死体がありました。

本屋大賞
ノミネート

著者名：青柳碧人

鬼退治。桃太郎って…えっ、そうなの？大きくなあれ。一寸法師が…ヤバすぎる！ここ掘れワンワン埋まっているのは…ええ！？昔ばなし×ミステリ。読めば必ず誰かに話したくなる、驚き連続の作品集！



流浪の月

本屋大賞
ノミネート

著者名：凧良ゆう

あなたと共にいることを、世界中の誰もが反対し、批判するはずだ。わたしを心配するからこそ、誰もがわたしの話に耳を傾けないだろう。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。

ムゲンのi 下

本屋大賞
ノミネート

著者名：知念実希人

眠りから醒めない四人の患者、猟奇的連続殺人、少年Xの正体。すべては繋がりに、世界は一変する。一気に読み必至、感動の結末。

